

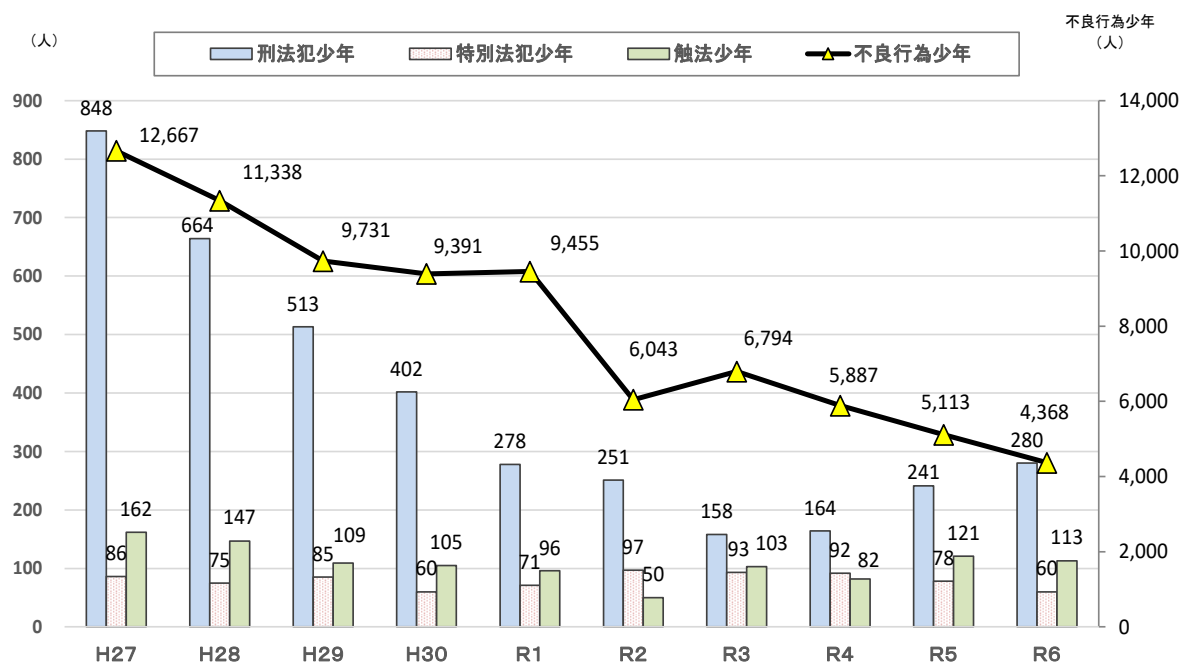
少年非行の概況 (令和6年中)



茨城県警察本部
人身安全少年課

1 少年非行の概況

(1) 少年非行の情勢

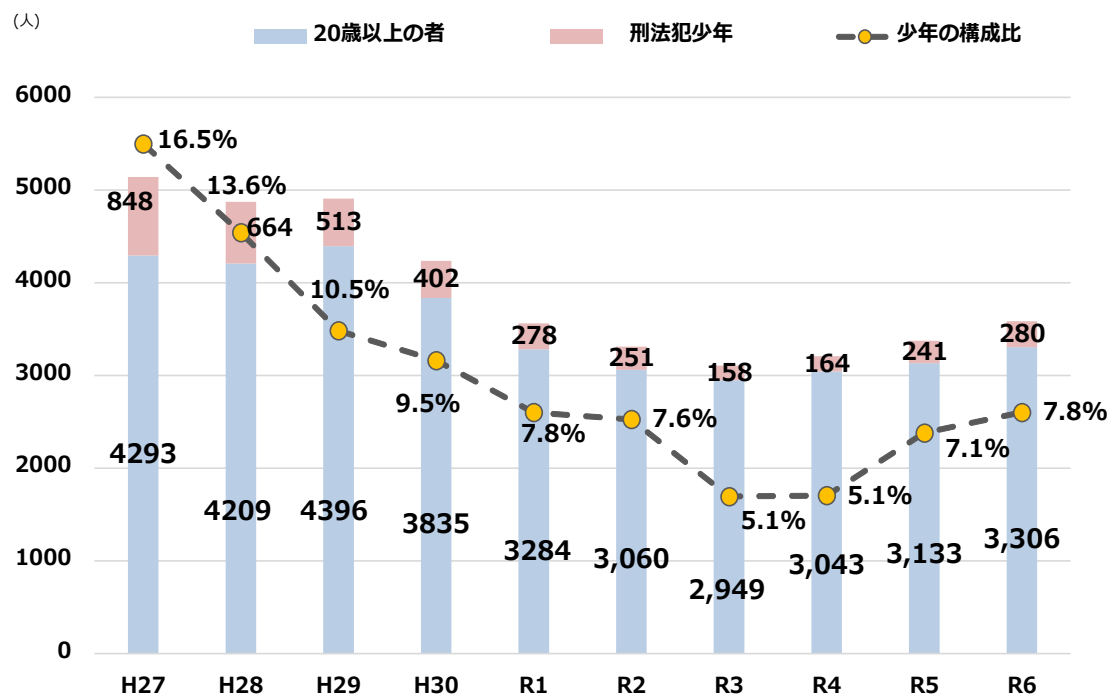


- ・刑法犯少年…犯罪行為をした14歳以上20歳未満の者のうち、刑法犯で検挙された少年
- ・特別法犯少年…犯罪行為をした14歳以上20歳未満の者のうち、特別法犯で検挙された少年
- ・触法少年…刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年
- ・不良行為少年…深夜はいかい、喫煙、飲酒、粗暴行為等で補導された少年

- 刑法犯少年は減少傾向にありましたが、令和4年からは増加に転じ、令和6年は前年と比べて39人増加しました。
- 特別法犯少年は減少傾向にあり、触法少年は増減を繰り返しながら推移しています。
- 不良行為少年は減少しており、令和6年中は前年と比べて745人減少しました。

(2) 刑法犯少年

ア 刑法犯総検挙人員に占める刑法犯少年の割合（構成比）



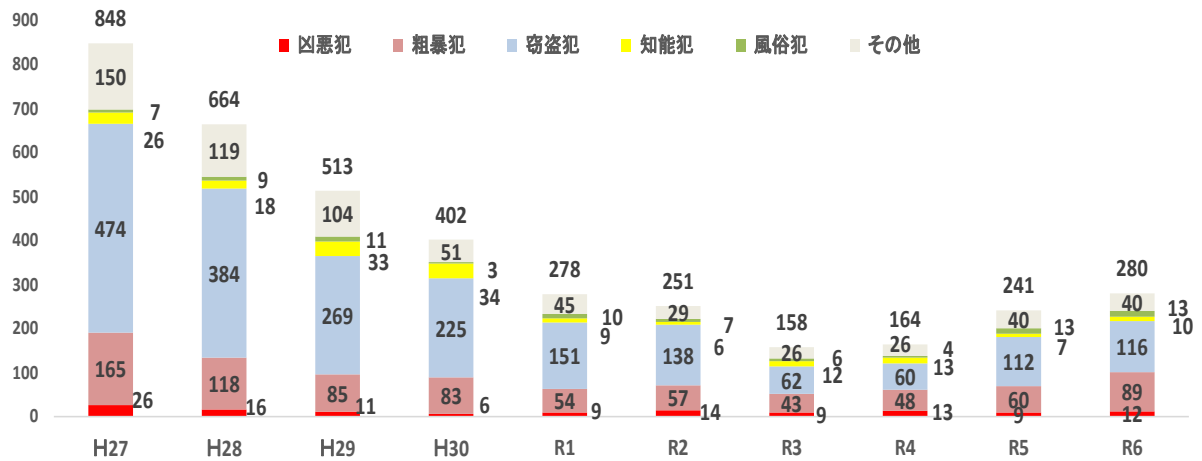
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増減数	増減率
総検挙人員	5,141	4,873	4,909	4,237	3,562	3,311	3,107	3,207	3,374	3,584	210	6.2%
20歳以上の者	4,293	4,209	4,396	3,835	3,284	3,060	2,949	3,043	3,133	3,304	171	5.5%
刑法犯少年	848	664	513	402	278	251	158	164	241	280	39	16.2%
構成比	16.5%	13.6%	10.5%	9.5%	7.8%	7.6%	5.1%	5.1%	7.1%	7.8%	0.7P	
20歳以上の者の人口	2,412,268	2,406,074	2,401,376	2,396,035	2,395,747	2,390,775	2,386,731	2,393,183	2,390,799	2,379,614	-11,185	-0.5%
人口比	1.8	1.7	1.8	1.6	1.4	1.3	1.2	1.3	1.3	1.4	0.1	
少年人口	170,269	169,764	168,631	165,797	165,431	161,005	157,520	154,960	153,658	149,842	-3,816	-2.5%
人口比	5.0	3.9	3.0	2.4	1.7	1.6	1.0	1.1	1.6	1.9	0.3	

注1：表中の少年人口は、茨城県政策企画部統計課の推計人口（14～19歳）（各年1月1日時点の人口を使用）

注2：人口比は、同年齢層人口1,000人当たりにおける検挙人員の割合。

令和6年中、刑法犯総検挙人員に占める少年の割合（構成比）は7.8%で、前年と比べて0.7ポイント増加しました。

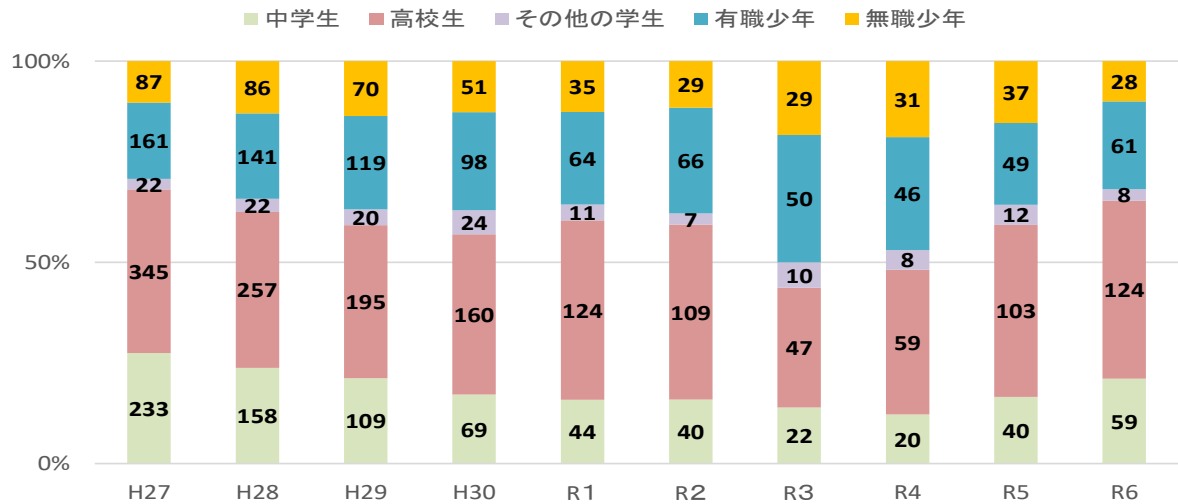
イ 罪種別検挙状況



- ・凶悪犯…殺人、強盗、不同意性交等、放火等
- ・粗暴犯…傷害、暴行、恐喝、脅迫等
- ・窃盗犯…万引き、自転車盗、侵入窃盗等
- ・知能犯…ニセ電話詐欺、横領等
- ・風俗犯…公然わいせつ、賭博等
- ・その他…占有離脱物横領、公務執行妨害等

罪種別では、前年と比べて粗暴犯が29人、窃盗犯が4人、凶悪犯、知能犯が3人増加しました。

ウ 学職別検挙状況

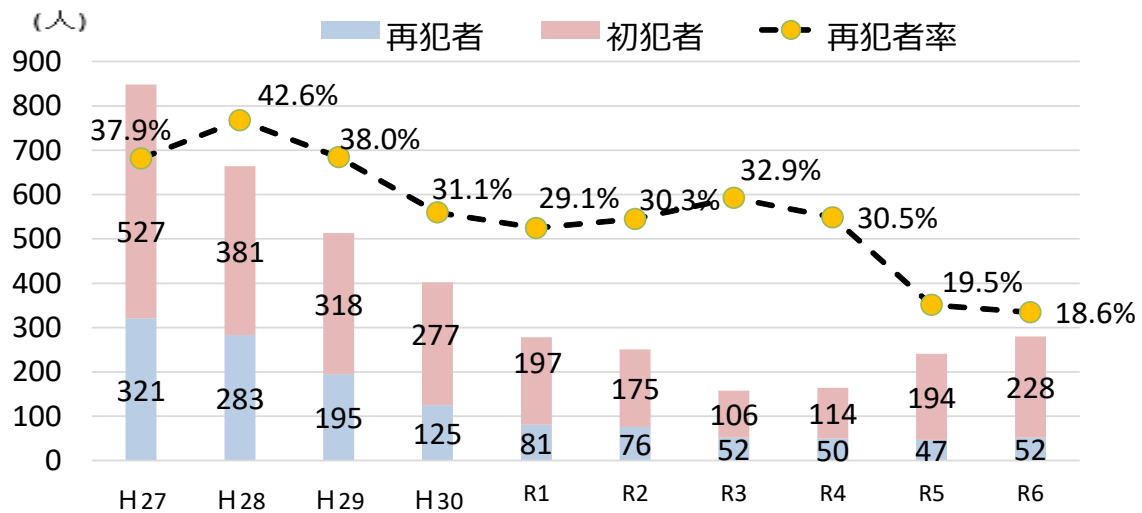


注:「その他の学生」とは、大学生及び専修学校生等

注2:グラフラベルは検挙人数を表示

学職別では、高校生が124人と最も多く、全体の44.3%を占め、次いで有職少年が61人と全体の21.8%を占めました。

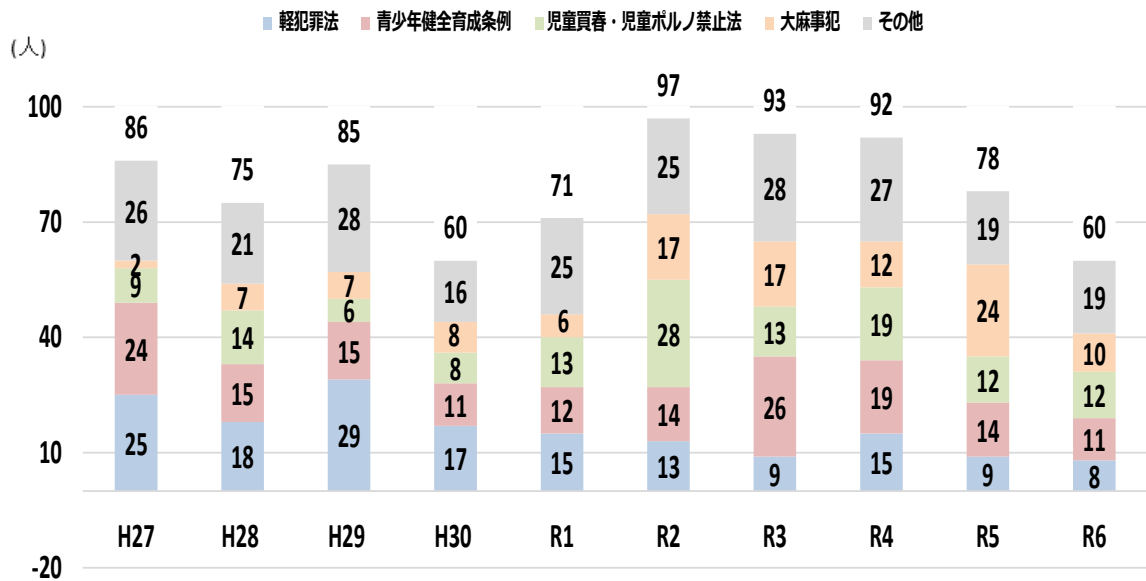
エ 再犯者率



再犯者の割合は（再犯者率）18.6%で、前年に比べて0.9ポイント減少しました。

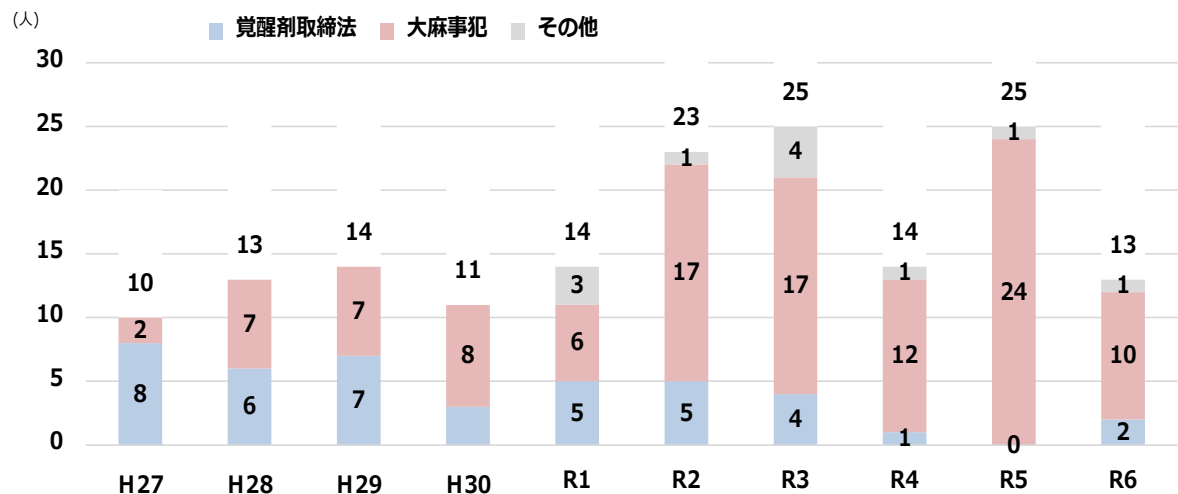
(3) 特別法犯少年

ア 法令別検挙状況



法令別では、児童買春・児童ポルノ禁止法での検挙が12人で最も多く、次いで青少年健全育成条例の11件、大麻事犯の10人でした。

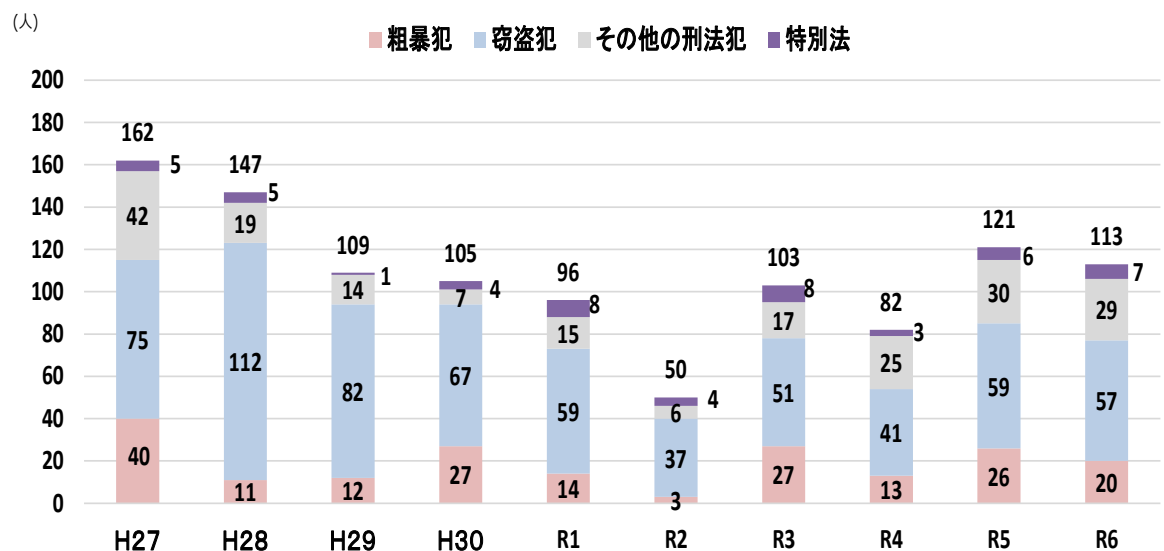
イ 薬物事犯



※ その他…麻薬特例法、麻薬取締法

薬物事犯で検挙された少年は13人で、前年と比べて12人（－48.0％）減少しました。
検挙人員13人のうち、大麻事犯で10名が検挙されています。

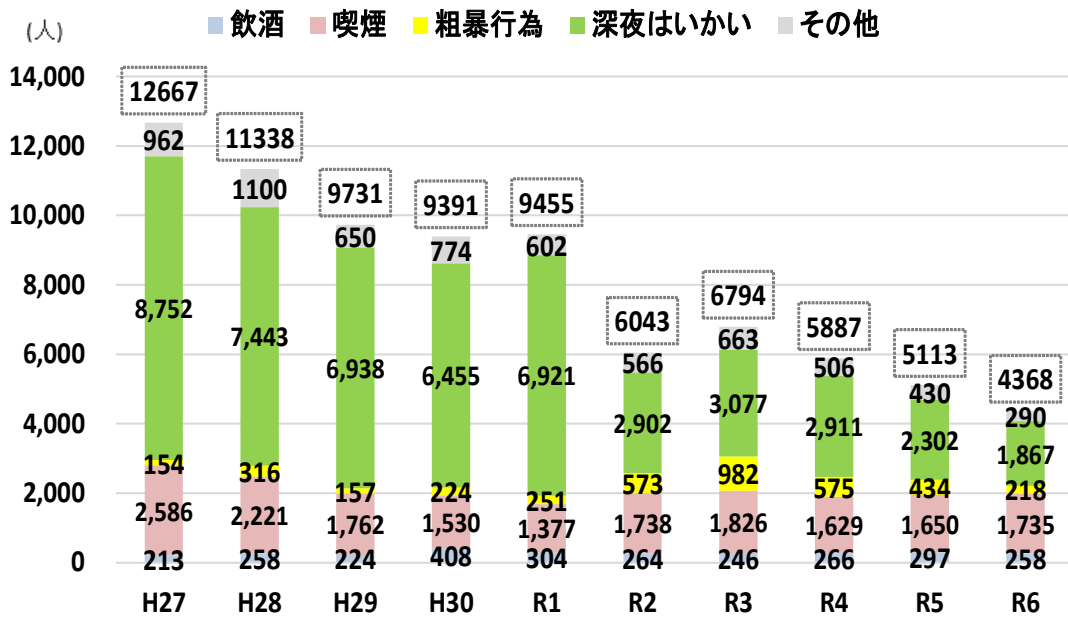
(4) 触法少年



※その他の刑法犯…凶悪犯、知能犯、風俗犯、刑法犯少年その他(器物損壊等)

触法少年の補導人員は113人で、前年と比べて8人（－6.6％）減少しました。
補導人数のうち、窃盗班が全体の約半数を占めました。

(5) 不良行為少年

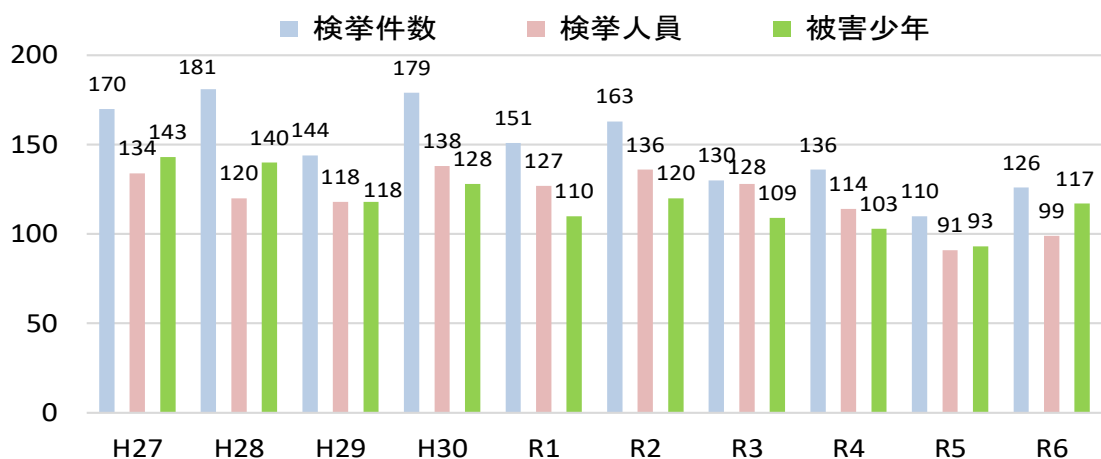


※ その他…家出、怠学等の不良行為

不良行為少年総数は4,368人で、前年に比べて745人（-14.6%）減少しました。
行為種別では、深夜はいかいが1,867人と最も多く、次いで、喫煙が1,735人で、この2行為が全体の約8割を占めました。

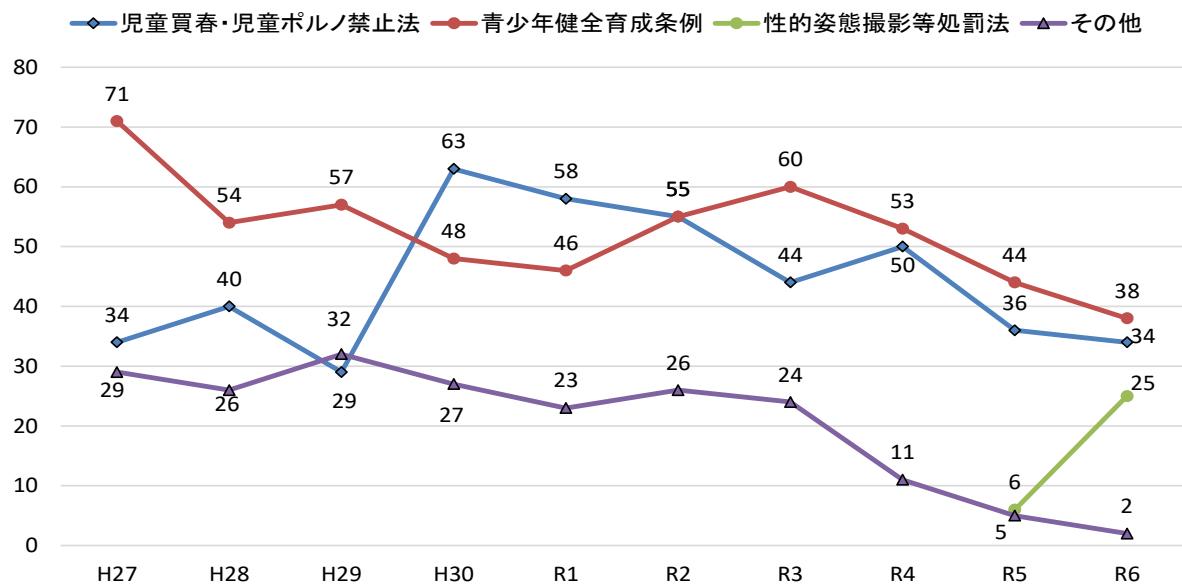
2 福祉犯（少年の福祉を害する犯罪）

(1) 検挙件数・検挙人員・被害少年



福祉犯の検挙件数・検挙人員・被害少年は、前年と比べていずれも増加しました。

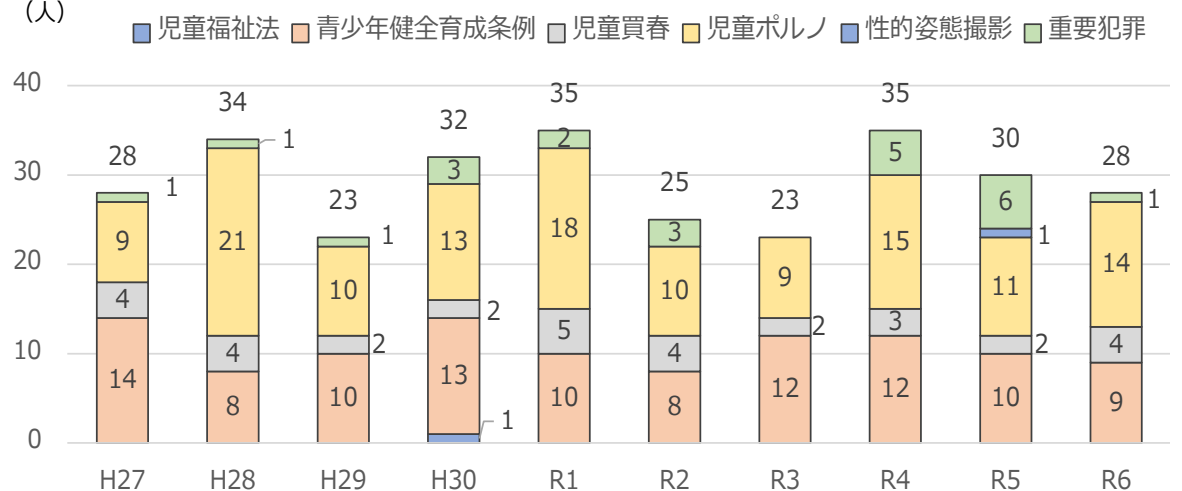
(2) 法令別福祉犯検挙人員推移



法令別の福祉犯検挙人員は、青少年健全育成条例が最も多く、次いで、児童買春・児童ポルノ禁止法でした。

(3) SNSに起因する事犯の被害状況

(人)



- ・ SNSとは、本統計では、通信ゲームを含み、届出のある出会い系サイトを除いたものをいう。
- ・ SNSに起因する事犯とは、SNSを通じて面識のない被疑者と被害児童が知り合い、交際や知人関係等に発展する前に被害にあった事犯をいう。
- ・ 重要犯罪等とは、殺人、強盗、放火、不同意性交等、略取誘拐、人身売買、不同意わいせつ(旧強制わいせつ)、逮捕監禁をいう。

SNSに起因する事犯の被害少年は28人で、前年に比べ2人(-6.6%)減少しました。